

 スウェーデン ストックホルム大学

2040年までのカーボンニュートラルとジェンダー主流化

5 ジェンダー平等を実現しよう



13 気候変動に具体的な対策を



ストックホルム大学 [著者の友人撮影]

ストックホルム大学とSDGs

スウェーデンのストックホルム大学のHPIにアクセスすると、「ABOUT OUR CAMPUS」「CONTACT」などの項目に並び「SUSTAINABLE DEVELOPMENT」がある。持続可能な社会開発はストックホルム大学の中心的課題なのだそう¹⁾。HPIにはSDGsに関する研究のビデオもいくつかあって面白い。気候変動の活動をしながら哲学ゼミに入った私にとっては、「Can philosophy help us fight climate change?」が印象的だった。

ストックホルム大学の取り組みの中でも目を引くのは、「2040年までのカーボンニュートラ

ル」と「ジェンダー主流化」である。その取り組みの実態とはいかなるものなのか。

2040年までのカーボンニュートラル

ストックホルム大学は、SDG Accord Climate Emergency Letterに署名し、2040年までのカーボンニュートラルを宣言した²⁾。ただ、大学が発表している2020年から2040年の気候ロードマップは、まだ具体的で測定可能な目標が含まれているわけではない。今のところ事業からの排出量を包括的に測定することができず、最初の数年はそうした測定ツールの開発をしなければならないようである³⁾。とはいえ、2～5年で始められる具体的な取り組みも列挙されている。例えば、デジタル会議やセミナーを発展させることや、化石燃料への投資をしないこと、キャンパス内のレストラン等が少なくとも一つのベジタリアン料理を提供することなどがある⁴⁾。

ジェンダー主流化

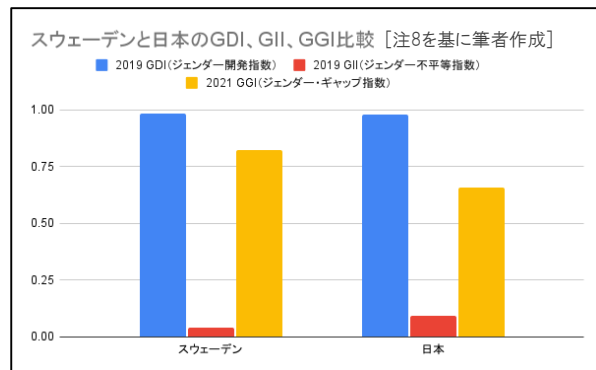
ジェンダー主流化の取り組みも見逃せない。スウェーデンはジェンダー主流化を政治戦略としており、高等教育機関はジェンダー主流化計画の措置と成果を報告、公開しなければならない⁵⁾。ジェンダー主流化というのは、「政策決定過程やあらゆるレベルの政策及びシステムをジェンダー平等にするための政策理念」⁶⁾

のことである。ストックホルム大学はジェンダー主流化計画の成果として、例えば採用と昇進のプロセスを透明で男女平等なものに改訂したこと、教員のための学習コースにジェンダーの観点を取り込んだことを挙げている⁷⁾。

スウェーデンと日本のジェンダー平等

三つの指標を用いてスウェーデンと日本のジェンダー平等について比較したい。各指標の詳細な意味は注8を参考にしてほしい。GDI(ジェンダー開発指数)とGGI(ジェンダー・ギャップ指数)は数字が1に近いほど、GII(ジェンダー不平等指数)は数字がゼロに近いほど男女が平等である。どの指標においても

スウェーデンの方が男女共同参画が進んでいることが読み取れる。



注

1. Stockholm University, "Sustainable development," (Retrieved May 27, 2022, <https://www.su.se/english/about-the-university/sustainable-development>).
2. Stockholm University, "The university's climate and environment work," (Retrieved May 27, 2022, <https://www.su.se/english/about-the-university/sustainable-development/the-university-s-climate-and-environment-work>).
3. Stockholm University, 2021, "Stockholm University Climate Roadmap for the period 2020-2040," (Retrieved May 27, 2022, <https://www.su.se/staff/organisation-governance/governing-documents-rules-and-regulations/environment/stockholm-university-climate-roadmap-for-the-period-2020-2040-1.536900>).
4. 同上
5. Stockholm University, "The university's work with gender equality and equal terms," (Retrieved May 27, 2022, <https://www.su.se/english/about-the-university/sustainable-development/the-university-s-work-with-gender-equality-and-equal-terms>).
6. 公益財団法人日本女性学習財団, 2019, 「ジェンダー主流化(Gender Mainstreaming)」, (2022年5月27日取得, <https://www.jawe2011.jp/cgi/keyword/keyword.cgi?num=n000282&mode=detail&catlist=1&onlist=1>).
7. Stockholm University, "The university's work with gender equality and equal terms," (Retrieved May 27, 2022, <https://www.su.se/english/about-the-university/sustainable-development/the-university-s-work-with-gender-equality-and-equal-terms>).
8. 国連開発計画, 2020, 『人間開発報告書2020 新しいフロンティアへ: 人間開発と人新世』, WORLD ECONOMIC FORUM, 2021, "Global Gender Gap Report,".

オ ス ス メ の 一 冊



グレタたったひとりのストライキ

マレーナ&ベアタ・エルンマン、グレタ&スヴァンテ・トゥーンベリ著；羽根由，寺尾まち子訳（海と月社，2019年）

【請求記号】0800:25:1614

「グレタ・トゥーンベリ」の名をご存じだろうか。2018年、当時15歳の彼女はたったひとりで「気候のための学校ストライキ」を始めた。この本では、彼女の家族がどのように気候危機に直面し向き合っているのか、気候危機がどれぐらい危機なのかが語られている。精一杯を尽くして、グレタの考えや気持ちを想像し、落ち込んで、考えて、沸き上がる勇気を感じてほしいと思う。

執 筆 者 紹 介

田原美優／社会学部 3年

グレタの学校ストライキをきっかけに始まった運動「Fridays For Future」などで気候危機への対策を求める活動をしています。今世紀中に1.5度上昇と言われている。異常な熱波や大雨、台風で人が死ぬのを見たくない。

